

文芸コーナー

西空に残月淡し今朝の霜
入れ替わり山茶花散らし発つ雀
熱気球上げる筑波や蒲団干す
土堤を行く吾が影伸びて芒原
葉鶏頭や身丈丁度の幸あれば

俳句 五十嵐正雄選
内野 葛西 節子
木刈 宮下 諄子
小林浅間 榎本聖游子
大森 石井 章夫
大森 石井 章夫
大森 石井 章夫

〈短歌・俳句をお寄せください〉

一人一首または一句で未発表のもの。毎月 20 日締め切り(必着)です。投稿は、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。

短歌

加藤恵美子選

手賀川を舟にてゆけば西岸近く茂る真菰の水隠り深し
秋の日に色鮮やかに咲く薔薇をゆらして過ぐる風やはらかし
朝靄の中を歩めば聞え来る若き交はす朝練の声
わが来る風土記の丘の古墳群守るが如く赤松高し
虐待に死したる男児つらかりし日々を思ひて記事に見入りつ

俳句

五十嵐正雄選

ほっとレポート



広報レポーター：瀧田 昭 造 (滝野)

今年度の『広報いんざい』7月15日号で「印西市歴史読本」発刊の記事が紹介されました。すでに購入され、お読みになった人もいらっしゃると思います。

この本を発刊するにあたり、執筆・編さんに携わった小池康久さん(市教育委員会生涯学習課主査)に取材をし、お話を伺いました。市(当時は印西町)では、昭和59年に印西町史編さん事業の取り組みを開始。その間、平成8年に町から市(旧印西市)に、そして平成22年3月

市史発刊に「いんざい」をよせて 「印西市歴史読本」におもむ

に本埜村・印旛村と合併し、新「印西市」が誕生しました。合併前の平成19年から4年計画で、市(旧印西市)の歴史を分かりやすく記述した歴史読本刊行に着手。印西地区の歴史を叙述した刊行物を編さんするため、執筆・市史編さん委員会、歴史読本編さん専門部会のみなさんで討議し、

三冊セットの「印西市歴史読本」(各巻1,300円)。A4サイズで写真など使った見やすい構成になっています



結縁寺(上)と「銅造不動明王立像」(下)も「歴史読本」の中で触れています



「近代・現代編」では、大正時代の横綱・鳳谷五郎(本名・滝田明)が紹介されています。わたしたち同様の横綱の存在に親近感をおぼえました。

「近代・現代編」では、大正時代の横綱・鳳谷五郎(本名・滝田明)が紹介されています。わたしたち同様の横綱の存在に親近感をおぼえました。最後に「歴史読本」刊行にちなみ、来春1月28日(土)には、市教育委員会主催の市史講演会が、ふれあいセンターいんば(美瀬)で開催されるそうです。

平安時代になると、表紙にも掲載されている馬込遺跡から、二つの七重の塔を模した瓦塔(仏教施設の中に納められた素焼きの仏塔)が出土したことも分かりました。

「中世・近世編」では、結縁寺蔵の重要文化財「銅造不動明王立像」を見て、昨年の御開帳の時、参道のヒガンバナを見ながら参拝したことを思い出しました。

印西地域の歴史に触れるにはうってつけの講演会だと思えます。参加してみたい方がいらっしゃるか。資料整理作業所(☎43500) ※土・日曜日、祝日は休所日。

施設がいに

千葉県立 印旛明誠高等学校



広報レポーター：村形 彰治(小林北)

「こんにちは」という元気な声が、すれ違う生徒たちから掛かっています。秋晴れの10月21日、印旛明誠高校(草深1420-9)



▲中国の高校生も一緒に受けた書道の交流授業

を訪問しました。北総線印西牧の原駅から、徒歩約20分、国道464号に面した当校は、新校舎完成を機に、今まで木下地区にあった旧印旛高等学校が改称、平成22年4月に開校しました。現在、教職員は非常勤講師を含め53人。生徒数は381人です。校章は市の花コスモスと知性の象徴であるペンをあしらひ、地域と

共に発展する文武両道の進学校を目指しています。4階建て校舎で、広々とした教室・体育館を見学後、三木教頭先生から学校の校風について話を伺いました。先生によると「当校は地域に信頼され、開かれた学校づくりに努め、社会に貢献できる人材育成を目指しています。そのため生徒の学力向上・進路指導の充実、そして生徒の自主性・個性の伸長に学校一丸で努力しています」とのことでした。また、世界に通用する人材育成のため、国際交流も熱心なようで、当初初めての修学旅行は韓国で行われたそうです。



▲▶両校の生徒がお互いの文化を披露し、交流を深めました



3年生の女生徒から、当校について聞くと「印旛高校時代に輪をかけて充実した毎日です。楽しい思い出を作り、来年の大学受験に臨みたい」と答えてくれました。また、取材当日は日中交流のため、男女20人の中国の高校生が来校。グループに分かれて

の食事会、英語・数学・芸術の交流授業も開かれ、生徒たちも和気あいあいとした雰囲気楽しんでいました。授業後、体育館で交流会が開かれました。まず最初に、印旛明誠高校の生徒たちが剣道やアイドルグループのダンスパフォーマンスを披露。返礼に中国学生は、男女混声の合唱で応え、最後に両校の生徒が見守る中、中国の女生徒が「上善若水(じょうぜんじょすい)」という見事な書を書き上げ、惜しみない拍手が送られました。訪れて分かりましたが、印旛明誠高校はフレッシュで魅力ある高校です。今後も生徒や先生の活躍に期待が寄せられます。 千葉県立印旛明誠高等学校 (☎477001)。

リサイクル情報広場

掲載情報は11月29日現在 團クリーン推進課クリーン推進班(☎内線383)

ゆずりませ情報 (有料の物は希望価格)

- ▲冷凍冷蔵庫(要相談) ▲額(油絵用) ▲小林中学校女子制服(夏・冬) ▲炊飯器(1千5百円) ▲電子レンジ(3千円) ▲鎌ヶ谷高校女子制服(要相談) ▲スライングラック ▲オートマチックゲート ▲ニナニナ ▲液晶テレビの台 ▲ホットカーペット ▲ガスストーブ ▲水盤 ▲せいろ。

さがしています情報

- ▲印西中学校男子制服(夏・冬) 体操服など ▲天神幼稚園女子制服・体操服・かばん・帽子 ▲秀明八千代高校男子制服・体育用品など ▲印西中女子制服・セーター・ベスト ▲印旛中制服・体操服(男子・女子) ▲しおん幼稚園制服・ジャージ(男・要相談) ▲電子ピアノ ▲木刈中女子制服(夏冬上下) ▲補聴器 ▲リカちゃん人形 ▲ベッド。

※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバッグを持参しましょう。

